

[ 横浜能楽堂 ]  
 平成28年度業務報告及び収支決算  
 [ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上2階地下2階建
敷地・延床面積	建築面積1,770.81㎡ 延床面積5,695.93㎡
開館日	平成8年6月28日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成29年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

横浜能楽堂は、古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の一翼を担い、「古典芸能の総合的な受・発信基地」としての役割を果たすため、質の高い事業や国際交流事業の実施することにより、横浜からの芸術創造発信を行いました。また、開館以来育んできた「敷居の低い能楽堂」を継承し、市民が文化芸術に触れ豊かな創造性を育むことのできる文化芸術活動の基盤整備を推進しました。

## (2) 28年度の業務の方針及び達成目標の総括

指定管理第2期の最終年である5年目にあたり、開館以来育んできた「敷居の低い能楽堂」への取組みとともに、第2期提案内容の達成に向け注力しました。

また本年度は横浜能楽堂開館20周年にあたる年であり、周年を記念する事業を「能面」をテーマに2公演展開し、高い評価を得ました。

一方で経年劣化の進行に対応するため施設の維持・管理において、より注意深く取り組みました。

### ①事業の総括

開館20周年事業として、各家に伝わる伝説的な能面・狂言面をテーマにした「伝説の能面・狂言面(全4回)」の開催、公募の能面による横浜を舞台とした能を演じる「横浜の能」の2事業を開催し、周年を寿ぐにふさわしい求心力ある事業を展開しました。あわせて横浜狂言堂100回記念公演の実施により、周年の祝祭感を盛り上げました。また日本・イタリア外交関係樹立150周年を記念し「楽器は東へ西へ 琵琶とマンドリン」を開催し、楽器のルーツと音の魅力に迫る事業を展開しました。本公演には秋篠宮妃殿下並びにイタリア大使夫人の来場があり、国際周年事業開催の意義を深めることができました。

横浜赤レンガ倉庫イベント広場に特設舞台を設け開催した「赤レンガ薪能」は、照明及び鏡板揮毫に人気の実力者を起用し大きな話題を呼びました。横浜ならではの都市空間での事業実施という点からも能に興味のなかった市民への訴求効果が大きい公演となりました。

また、普及公演として「横浜狂言堂」「親子能楽ワンダーランド」「バリアフリー能」など社会的意義の高い事業を着実に実施し、古典芸能の観客層の裾野拡大に努めました。

### ② 運営の総括

施設見学、施設利用などの相談に対応し、古典芸能に触れる機会の拡大に努めたほか、交通広告を展開し、施設および活動の周知に取り組みました。

非公募による指定管理第3期提案にあたっては、課題の抽出と東京オリンピック・パラリンピック2020.展望に向けた第3期の提案を行いました。

### ③ 管理の総括

「安心」「安全」「快適」な施設を提供するために、設備の予防保全や利用者・来場者の声などに迅速に対応しました。横浜市による中央監視盤装置の大規模更新工事が行われ、安定的な空調管理が実現しました。

## 4 自主事業についての達成状況

### (1) 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業について

#### 【目指す成果】

敷居が高いと思われがちな能楽等の古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。

#### 【成果についての振り返り】

開館20周年事業を中心に、体験・講座などを取り入れた事業や、良質で芸術性の高い事業まで幅広く展開し、古典芸能に関する興味や関心の拡大につながりました。すべての公演、講座等において達成指標の数値を超える成果となりました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>幅広い層が鑑賞しやすいように条件整備をした「普及公演」を実施します。</p> <p>●「普及公演-横浜狂言堂」 毎月第2日曜日に開催 12回 解説付きで2000円という料金設定により初心者にも鑑賞機会を増やしたい層にも魅力的な公演です。</p>	<p>「普及公演-横浜狂言堂」 □券売率80%以上</p>	<p>□普及公演 横浜狂言堂を毎月第2日曜日に開催。 (全12回の平均券売率:96.2%(各回券売率98.3%、99.8%、91.1%、99.6%、100.0%、91.1%、89.4%、99.4%、86.9%、100.0%、99.6%、99.4%) 狂言2曲と演者によるお話という内容と手頃なチケット代金で、初めての方が気軽に楽しめる公演としました。お客さまにご自身のチケットと一緒にもう一枚分のチケット代金をお支払いいただくと、児童養護施設にいる子どもたちが公演を鑑賞できる「もう一枚のチケット」プロジェクトを引き続き実施し、合計5人の子どもが公演を鑑賞しました。 横浜能楽堂及び事業の周知を図るために、JR横浜駅・JR桜木町駅・みなとみらい線みなとみらい駅の3駅に3月に2週間のポスター掲出を行いました。</p>
<p>●「普及公演-横浜狂言堂100回記念公演」2回 横浜狂言堂が通算100回を迎えることを記念し、演者自らが「この1曲」と考える選りすぐりの演目で開催します。</p>	<p>「普及公演-横浜狂言堂100回記念公演」 □券売率65%以上</p>	<p>□「普及公演-横浜狂言堂100回記念公演」4月29日実施。券売率 昼の部97.3%、夜の部97.3% 平成20年1月から始まった普及公演「横浜狂言堂」が平成28年4月で100回目を迎えることを記念し、現代を代表する狂言師・野村萬、野村万作、山本東次郎、茂山千五郎らが「これぞ狂言！」と考える一曲を選び上演しました。 2000円という破格の料金ながら3名の人間国宝が揃い、一流の芸の鑑賞機会をより多くの観客に提供することができました。また当日来場者には鏡板の梅の花にちなんだオリジナルキャンディを配布しました。 ・情報掲載3件</p>
<p>●「普及公演-バリアフリー能」1回 平成27年度に内閣府特命大臣賞を受賞し、開催意義を認めていただきました。引き続き「すべての人に能楽を」というコンセプトによりお届</p>	<p>「普及公演-バリアフリー能」 □券売率50%以上</p>	<p>□「普及公演-バリアフリー能」3月18日実施。介助者無料チケットを含め券売率84.6%(介助者チケット分を除くと65.2%)。 介助者1名無料、点字解説の用意、点字チケット・点字チラシの用意、舞台触図、副音声(同時解説放送)、解説時手話通訳、詞章の用意、触れる能面展示等の各種サポートに加え、メガネ型ウェアラブル端末20台、ipad10台を貸出し、字幕配信を実施しました。</p>

<p>けします。</p> <p>●「普及公演 夏休み親子能楽ワンダーランド」 1回 夏休みに親子で能楽の世界を楽しんでいただける公演。楽器の体験を併せて実施し、より身近に親しめる機会を提供します。</p> <p>開館20周年を記念し芸術性の高い企画公演を実施します。合わせて</p>	<p>「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 □券売率65%以上</p> <p>□各公演とも券売率65%以上</p>	<p>車いす席にB席設定がないことから、本公演に限り2F席の固定座席を外し臨時の車いす席2席を設けました。</p> <p>また公演終了後に開催した「視覚障がい者の方との意見交換会」では、副音声の解説内容について好評をいただいた反面、機器の性能についての指摘を受けるなど、今後の改善の検討につながる意見を聞くことができました。</p> <p>公演に先立ち2/18に「聴覚障がい者向け」と「視覚障がい者向け」の見学会を行いました。また3/6にお客様対応を行うスタッフ全員を対象にバリアフリー研修を実施しました（詳細後述）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー・写真付記事掲載5紙</li> <li>・情報掲載3件</li> </ul> <p>□「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 7月23日実施。券売率55.1%（こども来場者112名） 午前の第1部をワークショップ、午後の第2部を鑑賞とし、人数で変化に富んだ能「紅葉狩」と、小学6年生の国語の教科書に掲載されている狂言「柿山伏」を1977年生まれの若手能楽師で構成するグループ「七拾七年会」の出演で開催しました。第1部では能と狂言の動きや発声と能の4つの楽器を体験しました。第2部の冒頭でもミニワークショップを行い、「作ってみよう」コーナーでのポップアップカード作成や写真撮影コーナーを展開し、夏休みの一日を親子でフルに能楽に親しめる機会を提供しました。</p> <p>アンケートを分析すると来場者の満足度が高くまた初めて能楽堂に来る方の割合が高い普及的要素の強い事業ですが、夏休みの子ども向けイベントが集中する中で能楽が選考される状況が難しく、券売率が目標を下回りました。次年度は国語教科書に採用されより親しみやすい「狂言」を中心に、インターネットやSNSを活用した広報に注力し親子向け事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜音祭り2016パートナー事業</li> <li>・情報掲載5件</li> </ul> <p>□開館20周年記念公演「伝説の能面・狂言面」 6月11日、7月17日、8月21日、9月24日実施。 券売率 85.7%、83.4%、84.8%、85.4%</p>
---	--	--

<p>能面コンクールを実施し、入選作品を使用したの公演を行います。</p> <p>●開館 20 周年記念横浜能楽堂企画公演「伝説の能面・狂言」 全 4 回 能・狂言の各家で秘蔵する名物面に焦点をあて、その面にふさわしい曲を描えて開催。重要文化財に指定されている名品も使用します。</p> <p>●開館 20 周年記念横浜能楽堂企画公演 「横浜の能」 1 回 能には現在の横浜市金沢区を舞台とした曲が 2 曲ありますが、瀬戸神社を舞台に芸尽くしが見どころの能「放下僧」と、称名寺を舞台として、楓の精が舞う能「六浦」を上演します。</p> <p>●「能面コンクール」開催 横浜市金沢区にある称名寺を舞台にした能「六浦」で使用する女面を一般公募し、実際シテを演じる出演者自ら「舞いたい」と思う面を選びます。</p> <p>(追加事業)</p>	<p>□応募面 80 点以上</p>	<p>能楽のアイコンともいべき「面」をテーマに 20 周年記念公演を 4 回シリーズで開催しました。</p> <p>豊臣秀吉愛蔵の龍衛門作の「雪月花の小面」のうち金剛流の本面「雪の小面」を始め、観世鏡之丞家所蔵の日氷作「蛙」など伝説的な能面、そして狂言各家が秘蔵する狂言面に着目し、それぞれの面に最も相応しい曲が演じられました。20 周年ならではの華やかな内容であるとともに、第 1 回では横浜市歌を基に新作「横浜風流」が披露され、祝祭感が高まりました。</p> <p>・インタビュー・写真付記事掲載 7 紙 ・情報掲載 3 件</p> <p>□開館 20 周年記念公演「横浜の能」 11 月 26 日実施。券売率 95.8% 開館 20 周年を記念して、地元である横浜を舞台とする「放下僧」と「六浦」の能 2 曲と狂言「猿賀」を上演しました。 能「放下僧」では、能面コンクールの大賞作品 2 面が前シテ・後シテでそれぞれ使用されました。(詳細後述)</p> <p>□能面コンクール 募集期間 9 月 2～9 日。応募数 108 面 能「六浦」で使用する能面を公募するコンクールを 13 年ぶりに開催しました。面打ちは趣味として確立しているものの、打った能面が実際の舞台で使用されることは非常に少ないため、100 点を超える応募がありました。能「六浦」のシテを勤める野村四郎さんが 2 面を選び公演で使用し、その他の入賞作計 28 面を 2 階展示廊で展示しました。(詳細後述)</p> <p>・インタビュー・写真付記事掲載 5 紙 ・情報掲載 3 件</p> <p>□「赤レンガ薪能」 9 月 24 日実施。968 名入場、券売数 981/定員 1,070 席 券売率 91.7%</p>
--	--------------------	---

<p>芸術性・学術性があり創造・発信性の高い「企画公演」、海外の古典芸能分野での国際交流事業を実施します。</p> <p>●伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」 1回 能と組踊の類曲を上演する連続公演の第3回。能と組踊それぞれの芸術性を比べることができると好評です。能の稀曲「生贄」と組踊「孝行の巻」を送ります。</p> <p>●日本イタリア国交樹立150周年記念 特別企画公演「楽器は東へ西へー琵琶とマンドリン」1回 日本イタリア国交樹立150周年を記念して行う海外コラボレーション企画。ルーツを同じくする楽器「琵琶」「マンドリン」に焦点をあて</p>	<p>□各公演とも券売率 65%以上</p>	<p>赤レンガ倉庫イベント広場で、パリで活躍する照明デザイナー・石井リーサ明理の照明、画家の山口晃による鏡板揮毫により、能「船弁慶」と狂言「蚊相撲」を新能形式で上演しました。都市景観を活かした舞台設営と演出が大きな話題となり、能を見たことのない層にもアピールし968名の来場がありました。雨天のため能は装束を着けない袴能による演能となりました。またお客様自身のスマホやタブレットに日本語と英語の解説を無料で配信し鑑賞のサポートを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜音祭り 2016 パートナー事業</li> <li>・インタビュー・写真付記事掲載 11紙</li> <li>・情報掲載 4件</li> <li>・「ひるまえほっと」(NHK@首都圏)取材</li> </ul> <p>□「能の五番 朝薫の五番」 2月4日実施。券売率 93.6% 能と組踊の類曲を並べて鑑賞する企画の第3回。沖縄から遠く離れた横浜で、人間国宝を始めとするトップクラスの出演者による組踊を鑑賞できることに加え、約30年ぶりに能「生贄」が上演されることから、観客の期待度も高く、満足の声が多く寄せられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー記事掲載 6紙</li> <li>・情報掲載 2件</li> </ul> <p>□「楽器は東へ西へ 琵琶とマンドリン」 5月22日実施。券売率 83.6% 日本イタリア外交関係樹立150周年を記念し、ルーツを同じくする日本の琵琶とイタリアのマンドリンの名手を集めた企画公演を実施しました。横浜能楽堂委嘱作品「楽琵琶とマンドリンのための『緒合わせ』」を初演したほか、琵琶・マンドリンそれぞれの魅力を堪能できる内容となりました。公演には秋篠宮妃殿下並びにイタリア大使夫人の来場が叶い、また幕末に活躍した横浜ゆかりの写真家ベアトの写真を横浜市国際</p>
--	------------------------	--

<p>手が競演します。</p> <p>公演とは違った形で古典芸能の楽しみを深める「講座」の実施</p> <p>●「スリーステップで学ぶ能」1回開催</p> <p>今年度で3回目の実施となる講座。誰もが一度は学習する古典文学の名作「源氏物語」を材にとる能の作品をテーマに文学・詞章・演者それぞれの立場からアプローチし理解を深め、最後に実際の能を鑑賞します。今回は「浮舟」を取り上げます。</p> <p>自らが体験する「教室・ワークショップ」の実施</p> <p>●「こども狂言ワークショップ～入門編(全3日)」1回</p> <p>●「こども狂言ワークショップ～卒業編(稽古全10回)」1回</p> <p>●「横浜こども狂言会」1回</p> <p>夏休み期間に開催する入門編、その中から希望者が参加する卒業編と</p>	<p>□券売率 65%以上</p> <p>□各教室・ワークショップとも参加定員の80%以上</p> <p>こども狂言ワークショップ～入門編</p> <p>□16名以上</p> <p>こども狂言ワークショップ～卒業編</p> <p>□4名以上</p>	<p>局の協力でロビーに展示し、周年事業にふさわしい場となりました。10月に招聘によりイタリア2都市で公演3回とワークショップ1回を実施しました。また公演CDを製作し文化庁芸術祭レコード部門にエントリーしました。</p> <p>・インタビュー・写真付記事掲載 8紙</p> <p>・情報掲載4件</p> <p>・「ニッポンの芸能(NHK Eテレ)」取材/「旬の話題みより」コーナー</p> <p>□「スリーステップで学ぶ能」</p> <p>9月17日実施。券売率 95.4%</p> <p>今年で3回目となる催し。歌人・馬場あき子氏ら一流講師による詳しい解説を聞いた上で、能を鑑賞するという企画コンセプトや、人間国宝・梅若玄祥が能を舞うだけでなく自ら行う解説が好評です。アンケート結果では初めて能を見る方は3.3%、年に1-2回程度が43.9%と、他公演よりも初心者を中心とした来場が多く、この企画だから来たという声が見受けられ、能楽普及の一役を担っていることがうかがえました。</p> <p>・情報掲載1件</p> <p>□こども狂言ワークショップ～入門編</p> <p>7月26,27,28日実施。参加者 23名</p> <p>夏休み中の小・中学生を対象としたワークショップ。能楽をより身近に感じてもらえるよう、狂言を基礎から学ぶ実技と能楽の公演鑑賞をあわせて実施しました。</p> <p>一流講師の指導のもと、狂言の声の出し方・所作をこどもたちが学ぶ機会を提供することができました。</p> <p>□こども狂言ワークショップ～卒業編</p> <p>1月～3月 稽古10回実施。参加者6名</p>
---	--	--

<p>発表会を通じて、こどもたちの狂言に関する関心と習得につなげます。卒業編については長期の稽古でも参加しやすいように開催日程を工夫します。</p> <p>●「初めての能楽教室シリーズ『謡・仕舞』『小鼓』『大鼓』 (稽古全 10 回+発表会) 1 回 お稽古ごととしては習うきっかけが見つかりにくい能楽教室を、大人の初心者向けに開催します。</p>	<p>初めての能楽教室 □3 教室計 35 名</p>	<p>「こども狂言ワークショップ～入門編」参加者の中から、6名のこどもたちが 10 回のワークショップに参加し稽古を重ねました。稽古時間を選べるようにした結果、参加者数が前年度の 3 倍になりました。</p> <p>□横浜こども狂言会 3 月 26 日実施。参加者 21 名/来場者約 80 名 「こども狂言ワークショップ～卒業編」受講者とそのOBOG 組織である「いろはの会」のこどもたちによる狂言発表会。歴史ある横浜能楽堂の舞台で本格的な装束を着けて鍛錬の成果を発表することにより、こどもたちに大きな経験と成長の場を提供できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー・写真付記事掲載 2 紙</li> <li>・情報掲載 2 件</li> <li>・「にっぽんの芸能 (NHK E テレ)」取材</li> </ul> <p>□初めての能楽教室 11 月～2 月 10 回実施、発表会 2 月 25 日/来場者約 100 名 『謡・仕舞』20 名 『小鼓』12 名、『大鼓』12 名 参加者 44 名 お稽古の機会が得にくい初心者のための能楽教室を、平日の夜に開くことで、参加者層が 10 代、20 代が各 2%、30 代が 7%、40 代が 16%と、若い世代に能楽に親しむ機会が提供できました。10 回の稽古ののち、38 名が舞台で稽古の成果を披露しました。 教室終了後に続けてお稽古を続ける方もいらっしゃいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜音祭り 2016 パートナー事業</li> </ul>
--	---------------------------------	---

(2) 横浜能楽堂及び能楽等に関する情報の提供について

<p>[目指す成果] 公演情報を収集・提供し、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p>		
<p>[成果についての振り返り] 広報媒体への働きかけや、ブログ・ツイッター、インターネット動画配信、交通広告など、様々なツールを使った広報展開で能楽堂を知り、足を運んでいただく取組みを行いました。</p>		
<p>[取組内容] ●公演情報等の収集・提供</p>	<p>[達成指標] □新聞、雑誌への記事掲載 年間 24 回</p>	<p>[実施内容と達成状況] □インタビュー・写真付記事掲載、TV紹介 年間51回 (月平均4.3回)。情報掲載年間49件(月平均4.1件)。</p>



<p>●ホームページ・ブログ・ツイッター等の IT ツールの活用</p> <p>●ニコニコ動画の活用</p>	<p>□ホームページアクセス数：月平均 53,000 (H27年度目標 51,000)</p> <p>■発信の即時性を生かし、タイムリーに情報発信します</p> <p>■公演の実験中継を実施し、直接来られない層への認知度を高めます</p> <p>■アンケートの分析を通じて満足度を調査し今後の集客に活かします。</p>	<p>□ホームページアクセス数 月平均68,008</p> <p>□ブログ15回更新</p> <p>□twitter月平均14ツイート（年間計169ツイート）</p> <p>鮮度の高い情報発信を目標に、ツイッター中心に情報提供を行いました。</p> <p>■ニコニコ動画による横浜狂言堂の生中継を5回実施しました。平成24年度から引き続き、普段能楽堂に足を運ばない新たな層にもアプローチすることができました。</p> <p>視聴者同士でコメントをしながら視聴できるという、新しい狂言の鑑賞スタイルを提供でき、気軽に狂言を楽しめる場として活用できました。</p> <p>（年間視聴者数 1,952人、1回あたり平均視聴者数390人 コメント数9,493、1回あたり平均コメント数1,899）</p> <p>■「赤レンガ薪能」鏡板公開制作動画をyoutubeにアップし、若い年代へのPRを行うとともに美術ファンの能楽への興味・関心をいざないました。</p> <p>■「赤レンガ薪能」交通広告の実施。JR,MM線、東横線の13駅にポスター掲出。 期間8月15日～8月21日</p> <p>■「横浜能楽堂」交通広告の実施。JR横浜駅、桜木町駅、MM線みなとみらい駅にポスター掲出。 期間3月20日～4月2日 JR横浜駅、MM線みなとみらい駅 3月27日～4月9日 JR桜木町駅</p>
<p>●初めて能楽堂に来る層・日本語を母国語としない層への情報発信</p>	<p>■ちらしや館内サインの多言語化についてニーズを見定めながら進めます。</p>	<p>■12月11日「英語でおもてなし研修」を実施し、接客を担当する職員20名が受講し基本の英会話を学びました。受講者は「ENGLISH OK!」のバッチを着用し、接客にあたっています。</p> <p>館内サインについては財団事務局と調整し検討を進めています。</p> <p>■ロビーにデジタルサイネージを設置し、客席案内を投影しお客様の視認性を向上させました。</p>
<p>●国内外の古典芸能の現状等を、現地に赴き文化・観光の視点からも調査</p>	<p>□今後の事業企画のための基礎調査として国内1カ所、海外1カ所を調査し、今後の事業に活かします。</p>	<p>■9、12月沖縄、10月チェコ・イタリア、2月岐阜・福井、3月台湾</p> <p>沖縄では組踊を中心に古典芸能の調査を実施しました。今後さらに共同制作の検討を進めていきます。</p>

<p>●調査研究の成果を基礎にした展示の開催</p>	<p>□特別展を1回開催します。</p>	<p>チェコでは29年度に実施予定の公演の調査を行うとともに、イタリアでは「琵琶とマンドリン」イタリア公演に合わせて、今後の企画の参考のための劇場・文化施設の視察と情報交換を行いました。岐阜・福井県への視察では、各地に残る神事、郷土芸能の視察を行い、今後の企画に資する知識が得られました。台湾では台北・國光劇団との30年度に予定している共同制作の打合せを実施し、また台湾古典芸能への理解を深めるため劇場・博物館の視察を行いました。</p> <p>□特別展「能面コンクール2016」開催 開催期間11月26日～1月9日</p> <p>□来場者数 1,995名</p> <p>能「六浦」で使用された大賞2点をはじめ入賞作品28点を横浜能楽堂2階展示廊にて展示しました。それぞれ個性のある女面を一度に展示することで能楽に対する興味を持ってもらうきっかけとなりました。</p>
----------------------------	----------------------	--

(3) 能楽等の公演、練習その他の活動の支援について

<p>[目指す成果]</p> <p>利用者の公演事前準備や稽古場探し等の活動を支援することで、古典芸能の振興・普及を促します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>能楽堂利用に対するサポートや、古典芸能に関する催しの実施へのアドバイス・運営協力など、専門性を発揮しました。気軽に利用情報を入手できるようウェブサイトを通じて情報発信を行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●「施設を利用したい」「稽古をしたい」「公演・ワークショップを開催したい」という利用者の「実現したい」をサポートします。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』を実施します。(公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援など)</p> <p>■ホームページや動画サイトを活用し、具体的な利用をイメージできるような貸室映像を提供し、利用の促進につなげます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■利用希望者への情報提供や、日本舞踊やアフターコンベンション等で初めて能楽堂と能舞台を利用する方向けに進行・能楽に通じた通訳手配などのサポートなどを提供しました。</p> <p>■ホームページの貸館のコーナーに「さまざまなご利用の紹介」および「ご利用の流れ」を新設し、利用例を写真付きで紹介し、施設利用についての具体的なイメージを持っていただけるようにしました。</p> <p>■ツイッターの即時性を活用し「本日の貸館風景」として写真付きで利用の様子をリアルタイムで紹介し能楽堂利用を身近に感じてもらう工夫に取り組みました。</p>

(4) 能楽等に関する地域との連携事業について

<p>[目指す成果]</p> <p>地域団体等と連携しながら公演を行うことで、古典芸能の活性化を促します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>横浜市内の能楽愛好団体との連携、能公演実施の連携など、古典芸能の活性化に寄与したほか、西区との連携、周辺イベントの参加、地域文化施設として地域へのPRなど、より能楽堂を知っていただけるよう取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>地元企業・実演家・関連団体・地域団体等と連携した事業実施</p> <p>○横浜能楽連盟と協力して「横浜能」を開催します。</p> <p>○ふるさと西区実行委員会と協力して「かもんやま能」を開催します。</p> <p>○横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業</p> <p>○学校・教育機関と連携した見学、職業体験の場を提供します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□1回</p> <p>□1回</p> <p>□ワークショップ1校</p> <p>□学校からの見学受入2回、職業体験1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□第64回横浜能 6月4日実施。 券売率97.1% 宝生流のシテ方で横浜市内在住の能楽師・大坪喜美雄による能「八島」と石田幸雄の狂言「空腕」を上演しました。</p> <p>□第33回かもんやま能 10月29日実施。 入場者数452名 ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催。 能「景清」、狂言「延命袋」を上演。 広報協力、チケット販売代行、当日進行を担いました。</p> <p>□横浜市立潮田小学校（鶴見区） 11月7日 6年生3クラス90名参加 狂言方大蔵流 山本則秀さんらによる狂言「柿山伏」の鑑賞と狂言所作体験を行いました。</p> <p>■12月に横浜市小学校・中学校校長会において能楽堂の見学・職業体験機会について案内しました。 □学校関係の見学6件・146名（利用料金全額免除） □中学生の職場見学受入1件、 高校生の職場体験受入1件</p> <p>■一般社団法人伝統組踊保存会との提携で2/4「能の五番 朝薫の五番」実施（再掲） ■みなとみらい地区の花見関連イベントである「みなとみらい21 さくらフェスタ2016」に初めて参加し、来館者増・ショップ商品売上増につながりました。また4月2日に特別見学会を実施し59名の参加がありました。</p>

		<p>■昨年度に引き続き、横浜国立大学による学校における能楽教材製作のため協力し、親子能楽ワンダーランド、伝説の能面・狂言面第3回、スリーステップで学ぶ能の3事業において撮影機会の提供を行いました。今後の事業や運営に生かすなど活用の可能性を視野に、映像を資料として提供いただきました。</p> <p>■昨年度に引き続き、野毛地区まちづくり会、横浜商科大学等が主催する「野毛まちなかキャンパス」の1講座を担当。11月21日「横浜能楽堂探訪～140年余りの歴史を持つ関東最古の能舞台～」として開催し、40名の受講生に能楽や横浜能楽堂の能舞台の歴史の説明と舞台裏見学を行い、地域の文化資源に関する理解を深めてもらいました。</p> <p>■西区地域振興課との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区長新年あいさつの収録協力</li> <li>・ 西区「アプリDEお散歩」「春のまちあるき」キャンペーンへの協賛</li> </ul> <p>□近隣マンションへの広報をスタート</p> <p>「初めての能楽教室」案内ちらし 2軒430戸</p> <p>「狂言堂、施設見学会、鏡板」案内ちらし 6軒3,300戸、「年賀タウン」(年賀状)による施設案内 1,000戸</p> <p>「さくらフェスタ2017」特別見学会ちらし 3軒180戸、近隣マンションギャラリー1カ所</p> <p>■音楽通り飲食店3店に「能面コンクール特別展」ちらし置き実施</p> <p>■三菱地所レジデンス(株)との連携</p> <p>同社管理のマンション居住者への施設・事業のPRをスタートしました。今後会員向け事業のチケット先行発売やレクチャーなどのメニューを開発します。</p> <p>■他都市との連携</p> <p>金沢市東京事務所、大分市平和市民能楽堂、石川県立能楽堂スタッフが来館され、今後の相互事業協力につながる交流をはかりました。</p>
--	--	---

## 5 施設の運営について

### (1) 人員配置

[計画]

項目	人数	備考
館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー
担当グループ長	1	管理運営 1
チームリーダー	1	事業 1
職員	4	事業 3 管理運営 1
補助職員	18	事務室補助職員 2、 1F 受付 16

[実施内容] ※H29. 3. 31 現在

項目	人数	備考
館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー
担当グループ長	1	管理運営 1
チームリーダー	1	事業 1
職員	5	事業 4 管理運営 1
補助職員	20	事務室補助職員 4、 1F 受付 16

### (2) 勤務体制

[計画]

<p>基本</p> <p>館長を除き、ローテーションでの勤務体制 主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整し、柔軟に対応します。</p> <p>館長 9:30~18:15</p> <p>担当グループ長、チームリーダー、職員 A 勤務 8:45~17:30、B 勤務 13:15~22:00</p> <p>補助職員 (B1F 事務所) A 勤務 8:45~17:15、B 勤務 13:30~22:00</p> <p>補助職員 (1F 受付) A 勤務 8:55~14:40、B 勤務 14:30~20:15</p>
--

[実施内容]

<p>計画通りに勤務を行いました。 適切な労務管理を執行しました。</p>
---

### (3) 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●能舞台の制約を守りながら、能楽以外（琉球芸能・邦楽・日本舞踊等）での利用にもできるかぎり施設を提供します。</p>	<p>■能楽以外での利用にきめ細やかに対応できるよう、相談窓口機能を強化します。</p>	<p>■5月横浜中ロータリークラブ創立記念行事、10月パシフィコ横浜で開催された国際会議のオプションツアーについて運営のサポートを行いました。</p> <p>■横浜能楽堂が学校鑑賞会のパッケージを作成、提案し中学校1校による鑑賞会が実現しました。</p> <p>■中学・高校による鑑賞会の貸館利用が4件あり、学校鑑賞会のニーズについて情報収集を行いました。次年度以降の貸館営業につなげていきます。</p>

<p>●業務の基準に基づき、開館時間・利用料金の徴収・施設点検日の周知を行います。</p>	<p>■撮影での利用相談につき柔軟に対応します。</p> <p>■撮影料金につき新たな設定を行います。</p> <p>■業務の基準に基づき業務を行います。</p>	<p>■撮影料金の案について整理、検討しました。次年度以降、設定します。</p> <p>■12月 能楽協会主催の小・中学校の教師向け「能楽体験教員セミナー」運営のアドバイスや広報サポートを行ったほか、横浜狂言堂の5月・10月公演で『街コン』イベントへの協力を行い、イベントに対する高い満足度を得たとのフィードバックがありました。</p>
---	---	--

(4) 利用促進及び利用者サービスの向上について

<p>[取組内容]</p> <p>●利用率向上のため、利用申込への柔軟な対応を行います。</p> <p>●利用の促進のため、貸室の広報を行います</p>	<p>[達成指標]</p> <p>目標利用率</p> <p>□本舞台(日)30%</p> <p>□第二舞台(日)70%</p> <p>□研修室(コマ)30%</p> <p>□楽屋(コマ)25%</p> <p>□年間来館者数 50,000人</p> <p>■ちらし・ホームページを活用し貸館の周知を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□本舞台(日) 37%</p> <p>□第二舞台(日) 58%</p> <p>□研修室(コマ) 32%</p> <p>□楽屋(コマ) 27%</p> <p>□年間来館者数52,883人</p> <p>■ホームページの貸館案内のコーナーを新設し、さまざまな利用例を写真付きで紹介しました。(再掲)</p> <p>■ツイッターで「本日の貸館風景」を紹介し、能楽堂利用を身近に感じてもらう試みをスタートしました。(再掲)</p> <p>■ロビーにデジタルサイネージを設置し、客席案内とちらしを掲示し視認性を向上させました。(再掲)</p> <p>■キッズクッション98個を備品として購入しお子様の鑑賞サポートに供しました。</p>
--	---	--

利用状況等について

横浜能楽堂	28年度	
	稼働率	利用者人数
本舞台	36.8%	23,972人
第二舞台	58.3% (32.7%)	4,684人
その他		24,227人
合計		52,883人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

(5) 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>●施設の使命ならびに第2期指定管理期間の政策</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□専門性向上のための研修を年1回以上行います。</p>	<p>[取組内容]</p> <p>□「能装束講座」3回実施</p> <p>常設展の能装束の入替に合わせ、能装束研究者であり、</p>
---	--	--

<p>目標を達成するために、適切な経営組織の構築と人材の確保に努めます。</p> <p>●配置されている職員ならびに補助職員については、業務を通じたOJTならびに研修等を通じてスキルアップを図ります。</p>	<p>□「バリアフリー能」研修を年1回行います。</p> <p>■「バリアフリー能」研修で得た接客の知識を、お客様のおもてなしやサービスに活かします。</p> <p>■事業企画・実施、利用者対応・サービス、施設維持管理につき、体制の維持向上により質の高い施設運営を行います。</p>	<p>能装束復元も行っている山口能装束研究所の山口憲氏より、能装束からみる能の歴史など話を聞き、能楽の知識を深めました。</p> <p>□「能面取扱い研修」1回実施</p> <p>特別展「能面コンクール2016」の展示に際し、能面の取扱い方、効果的な展示方法について能面師である石原良子氏に指導を受けました。</p> <p>□2月28日 財団総務グループ主催の専門人材プレゼンテーション研修に2名が出席し発表を行いました。</p> <p>□3月6日バリアフリー能研修「車いすの方の身体介助」をテーマに講師をお招きし職員と臨時職員が受講し、ハードとソフトの両面での知識を習得しました。3月18日開催バリアフリー能では2階席に臨時に車いす席を設けご案内するとともに、2F客席からの避難誘導経路を確認しました。</p> <p>□12月11日「英語でおもてなし研修」を実施しました。(再掲)</p> <p>□2月12、11日 橋がかりの誤記載を受け、事務処理ミス防止に向けてコンプライアンス研修を行いました。</p>
--	---	--

(6) 施設見学等への対応について

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜能楽堂や古典芸能について広く知っていただくため、施設見学日を定期的に設けます。</p> <p>●教育機関対象に減免制度を設け、施設見学を利用しやすい環境を整え</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設見学日 月に1回開催します。</p> <p>■能楽を知ってもらうきっかけとして教育機関向けの見学周知をはかります。</p>	<p>[取組内容]</p> <p>□毎月第2木曜日10時から施設見学会を実施しました。13回実施。参加者 計245人</p> <p>8月11日は山の日で祝日にあたることから、初の試みとして午前・午後2回の見学会を設定し、計95名の参加がありました。</p> <p>□さくらフェスタ2016特別見学会4/2 59名</p> <p>□横浜市10大ニュース応募当選者見学会2/9 7名</p> <p>□お土産付の有料見学4件・128名</p> <p>また、横浜観光コンベンション・ビューローと連携し「JTB観光資源磨き上げセミナー」会場の提供、海外メディアによる横浜取材ツアーに対応し、館のプロモーションにつなげました</p> <p>□学校関係の見学6件・146名(利用料金全額免除)(再掲)</p> <p>■12月に横浜市小学校・中学校校長会において能楽堂</p>
---	---	--

<p>ます。</p> <p>●常設展示について、定期的に展示替えします。</p>	<p>□常設展 展示替え年2回以上を実施します。</p>	<p>の見学・職業体験機会について案内しました。(再掲)</p> <p>■中学生の職場見学受入1件、高校生の職場体験受入1件(再掲)</p> <p>□常設展「初めて知る能狂言の世界」と、季節に合わせた装束の展示替えを3回実施しました。(4,7,1月)</p>
--	------------------------------	---

(7) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減や効率的運営の努力について

<p>[取組内容]</p> <p>●助成金等獲得努力</p> <p>●事務経費削減の努力</p> <p>●外部機関との連携による事業実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□外部資金獲得目標 200万円以上</p> <p>■チラシの作成枚数を精査する、不要不急の支出を抑える等、コスト管理を徹底し経費削減に努めます。</p>	<p>[取組内容]</p> <p>□文化庁 平成28年度劇場・音楽堂等活性化事業(特別支援事業) 3,330万円内定、2,790万円獲得</p> <p>□芸術文化振興基金 316万円内定(上記文化庁助成重複により辞退)</p> <p>■事業収入を上げるため、マスコミに個別に企画説明に赴き、大型事業は記者会見を開催するなど広報活動を積極的に行い、自主財源の確保に努めました。</p> <p>■他機関(一般社団法人伝統組踊保存会、ミラノ音楽院等)との提携公演・招聘を受けた公演・WSを行い、事業費の負担が少なくかつ質の高い事業を実施する工夫をしました。</p> <p>■ショップ商品の拡充・開発</p> <p>7月から横浜市水道局「はまっ子どうし」の販売、3月にオリジナル手ぬぐいのリニューアルを行いました。また看板商品である落雁「鏡板」を季節や催しに合わせて紅白、抹茶、桜型と展開し売上増につなげました。</p> <p>・ショップ売上 256万円(前年度238万円)</p> <p>■沖縄県酒造組合から公演レセプションで提供する酒類の現物協賛を受けました。</p>
--	---	--

6 施設の管理について

(1) 保守管理業務について

<p>[取組内容]</p> <p>●設備機器の稼働状況を観察しつつ、トラブルを未然に防ぐよう定期点検を実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に基づき保守点検を実施します。</p> <p>□過失事故0件</p>	<p>■年間計画に基づき定期的な保守点検を実施しました。</p> <p>□過失事故0件。</p> <p>■施設トラブルに迅速に対応しました。修繕対象案件</p>
---	---	--



<p>●施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図ります。</p>		<p>については横浜市と情報共有し、実施または技術相談を依頼しました。</p> <p>■横浜市により中央監視盤装置更新工事が実施され、安定的な施設環境管理が実現しました。</p> <p>■技術相談対象である本舞台照明について異常消灯が数回にわたり発生し、調光卓の代替機提供を受けつつ原因究明を行いデジタル・アナログ変換機ユニットの交換を行いました。</p> <p>■男子小便器のセンサー故障について手持ち部品で対応しましたが、部品生産廃止となっているため、今後の修繕方針について横浜市と協議しました。</p> <p>■舞台モニターカメラの不調については代替案を含め横浜市に状況の共有を行って対策しています。</p>
---	--	---

(2) 環境維持管理業務について

<p>[取組内容]</p> <p>●施設の状態を清潔に保ち、利用者が快適に利用できるように管理を行います。</p> <p>●施設周辺に配慮した植栽管理業務を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に基づき維持管理業務を実施します。</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.0以上</p> <p>□過失事故0件</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□アンケートによる平均評価は4.43でした。 /アンケート回収総数1,744</p> <p>□過失事故0件</p> <p>■2Fのだれでもトイレ内に、介助者の方が気兼ねなく同室できるように目隠しカーテンを設置しました。</p> <p>■ロビーおよび見所にWI-FIを設置し、来館者の利便性を高める環境を整えました。供用は平成29年度からを予定しています。</p>
---	---	---

(3) 保安警備業務について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務の基準ならびに別添資料に基づき、24時間警備を実施し、利用者の入退出を適切に管理します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□過失事故0件</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□過失事故0件</p>
--	------------------------------	-----------------------------------

(4) 駐車場管理業務について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務の基準ならびに別添資料に基づき、施設利</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□過失事故0件</p> <p>□保守点検 年2回以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□駐車場における事故ゼロ</p> <p>□機械式駐車場について、機能維持点検を2回実施しま</p>
---	---	---

<p>用者、近隣住民の安全管理のため、駐車場利用車両の安全誘導に努めます。</p> <p>●業務の基準に基づき保守点検を実施します。</p>		<p>した。(9/30、3/24)</p>
--	--	-----------------------

(5) 防災等について

<p>[取組内容]</p> <p>●関連法規に基づいた届出等を行います。</p> <p>●「危機管理マニュアル」に基づき、災害時に観客を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行います。</p> <p>●西消防署と協定に基づき連携して防災に取り組みます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□消防訓練 年2回実施</p> <p>□消防設備の取り扱い研修 年2回実施</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□消防訓練7月21日、1月19日に実施。消防訓練と併せてノロウイルス対応手順の訓練を行いました。1月は新しく導入した軽量担架でケガ人の搬送訓練を実施しました。</p>
---	--	---

(6) 緊急時の対応について

<p>[取組内容]</p> <p>●訓練等を通じ全スタッフに対応の徹底を図ります。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応します。</p> <p>□消防訓練 年2回実施(再掲)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応しました。</p> <p>□7月21日、1月19日 2回実施。(再掲)</p>
---	---	--

(7) 文化財の保護について

<p>[取組内容]</p> <p>●スタッフによる日常点検を行い、必要に応じて建築時に携わった日本建築専門業者による簡易点検を実施し、修繕を行う必要が生じた場合は横浜市と協議します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い適切に管理します。</p> <p>■日常点検 随時</p> <p>■専門業者による簡易点検 日常点検等において必要と認められた時</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■スタッフによる日常点検を行ったほか、7月6日に12条点検を実施しました。</p> <p>■開館以来使用していた揚幕を新調・交換しました</p> <p>■本舞台 専門業者による点検1回、床面の補修1回実施。</p>
---	--	---

(8) 公園事務所、公園用公衆便所の取扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●公園事務所の鍵の管理及び公園用公衆便所の光熱水費の一時負担	■業務の基準に従い取り扱います。	■業務の基準に従い取り扱いました。

(9) 広域避難場所用機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の取扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●広域避難場所用資機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の鍵の管理	■業務の基準に従い取り扱います。	■業務の基準に従い取り扱いました。

(10) 光熱水費の削減努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●光熱水料費等の削減に努めます。 ●日々の業務遂行上、常に高い意識で無駄の無い運営を心がけます。	■業務の基準に従い適切に管理します。 □電気使用量前年度水準を保ちます。	■業務の基準に従い取り扱いました。 □電気使用量 443,798Kwh (対27年度比8.0%増) □都市ガス使用量44,102m <sup>3</sup> (対27年度比2.4%増) □水道使用量2,858m <sup>3</sup> (対27年度比0.3%増)

7 PDCA サイクルの確実な運用

(1) 業務記録について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●日報及び月報の作成・管理	■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応します。	■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。

(2) 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

①業務記録について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。 ●上記資料をもとに、モニ	■業務の基準に従い記録を作成します。	■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。

タリング時に適切に対応します。		
-----------------	--	--

②業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務計画書及び業務報告書を作成し管理します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従いを作成、管理します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。</p> <p>■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。</p>
--	--	--

③-1 業務評価(モニタリングの実施)について

<p>[取組内容]</p> <p>●毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について市に報告します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い実施します。</p> <p>■横浜市と課題ならびに成果を共有します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い実施しました。</p> <p>■横浜市と課題ならびに成果の共有を行ったほか、不具合箇所の視察を随時確認してもらいました。</p>
---	--	---

③-2 業務評価(自己評価の実施)について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務実績および利用者の満足度や意見を基に自己評価を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげました。</p>
--	--	--

③-3 業務評価(第三者による評価の実施)について

<p>[取組内容]</p> <p>●選定評価委員会による第三者評価に対応します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、評価内容に基づき業務改善につなげます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施。選定評価委員会への出席し、いただいた評価、ご意見を基に以降の業務改善につなげました。</p>
--	---	--

8 その他の計画 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <p>●施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応しました。保険を利用する事例はありませんでした。</p>
---	---	--

サービス費用保険に加入します。		
-----------------	--	--

## (2) 法令の順守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●法令を遵守し、個人情報保護に取り組みます。</li> <li>●財団主催の個人情報保護研修を受講します。</li> <li>●財団主催のコンプライアンス研修を受講します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市個人情報保護条例等の関係法令、財団規程類、基本協定等に基づき適正に管理します。</li> <li>□研修出席者は全員に情報を共有し、業務に則した研修を実施します。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市個人情報保護条例に基づき管理・保護に努めました。</li> <li>■行事予定表「橋がかり 2017.2-4」において、電話番号の誤記載があり、配布済「橋がかり」を回収しました。またコンプライアンス研修を2/11, 12に実施しました。</li> <li>■財団主催の個人情報保護研修を管理職が受講。</li> <li>■財団主催の月1回のコンプライアンス委員会、コンプライアンス研修に管理職が出席し、館内で情報共有を行いました。</li> <li>■書類の管理状況を見直し、施錠管理を徹底しました。</li> </ul>
--	---	---

## (3) 情報公開への積極的取り組み

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業計画や記者発表資料などを財団ホームページにて公開します。</li> <li>●情報開示請求については、財団の規程に従い、担当部署を通して対応します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組みます。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組みました。</li> </ul>
---	--	--

## (4) 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市及び関係機関等との情報交換や業務の調整に努めます。重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を心がけます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応します。</li> <li>■市の要求に応じた資料の提出等 随時</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応しました。</li> <li>■市の要求に応じて資料を随時提出しました。</li> <li>■周辺でのイベントや自主事業のほか、消防訓練等で戸部警察署、西消防署と連絡を密にとりました。</li> </ul>
---	---	--

(5) その他

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"><li>●適切な許認可及び届出等</li><li>●施設の目的外使用</li><li>●名札の着用</li><li>●人権の尊重</li><li>●近隣対策</li><li>●書類の管理</li><li>●行政機関が策定する基準等の遵守</li><li>●法律の制定及び改正への対応</li></ul>	■業務の基準に基づき適切に対応します。	■業務の基準に基づき適切に運営を行いました。

9 収支決算  
別添のとおり

## 平成28年度 「横浜能楽堂」 収支予算書及び報告書

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	182,893,000		182,893,000	182,893,000	0	横浜市より	
利用料金収入	15,000,000		15,000,000	13,848,590	1,151,410		
自主事業収入	39,677,000		39,677,000	48,563,508	△ 8,886,508		
雑入	7,472,000	0	7,472,000	28,645,180	△ 21,173,180		
雑収入			0	745,806	△ 745,806	学校鑑賞会手数料、自販機販売手数料、街コン開催協力金等	
負担金収入			0	0	0		
その他(助成金収入)	7,472,000		7,472,000	27,899,374	△ 20,427,374	文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
収入合計	245,042,000	0	245,042,000	273,950,278	△ 28,908,278		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	70,951,000	0	70,951,000	74,645,366	△ 3,694,366		
給与・賞金	58,394,000		58,394,000	61,790,380	△ 3,396,380		
社会保険料	6,428,000		6,428,000	7,988,621	△ 1,560,621		
通勤手当	3,151,000		3,151,000	2,903,622	247,378		
健康診断費	40,000		40,000	92,013	△ 52,013	ストレスチェック料、労災上乗せ保険料含む	
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000	40,000	△ 4,000		
退職給付引当金繰入額	2,902,000		2,902,000	1,830,730	1,071,270		
事務費	10,110,000	0	10,110,000	13,148,289	△ 3,038,289		
旅費	600,000		600,000	436,894	163,106		
消耗品費	850,000		850,000	2,089,220	△ 1,239,220		
会議諸費	80,000		80,000	0	80,000		
印刷製本費	1,650,000		1,650,000	1,143,147	506,853	施設パンフレット等含む(財団経理上は広告宣伝費)	
通信費	2,100,000		2,100,000	2,316,192	△ 216,192		
使用料及び賃借料	2,410,000	0	2,410,000	2,699,303	△ 289,303		
横浜市への支払分	10,000		10,000	9,110	890	目的外使用	
その他	2,400,000		2,400,000	2,690,193	△ 290,193		
備品購入費	1,000,000		1,000,000	3,414,298	△ 2,414,298	受託財産購入費支出	
図書購入費	350,000		350,000	319,992	30,008	新聞購読料	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	97,040	2,960		
職員等研修費	0		0	5,000	△ 5,000	会議参加費	
振込手数料	350,000		350,000	448,790	△ 98,790		
リース料	500,000		500,000	0	500,000	賃借料に含む	
手数料	120,000		120,000	178,413	△ 58,413		
地域協力費	0		0	0	0		
事業費	76,817,000	0	76,817,000	102,635,522	△ 25,818,522		
自主事業費	76,817,000		76,817,000	102,635,522	△ 25,818,522	消費税を含む	
管理費	69,500,000	0	69,500,000	65,241,279	4,258,721		
光熱水費	19,000,000	0	19,000,000	13,013,433	5,986,567		
電気料金	12,000,000		12,000,000	7,805,827	4,194,173		
ガス料金	5,000,000		5,000,000	3,473,365	1,526,635		
水道料金	2,000,000		2,000,000	1,734,241	265,759		
清掃費	10,500,000		10,500,000	21,556,800	△ 11,056,800	警備と合わせて委託	
修繕費	4,500,000		4,500,000	3,275,387	1,224,613		
機械整備費	10,500,000		10,500,000	0	10,500,000	清掃に含む	
設備保全費	25,000,000	0	25,000,000	27,395,659	△ 2,395,659		
空調衛生設備保守	20,000,000		20,000,000	19,650,600	349,400		
消防設備保守	0		0	0	0	空調衛生に含む	
電気設備保守	0		0	0	0	空調衛生に含む	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	空調衛生に含む	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	空調衛生に含む	
その他保全費	5,000,000		5,000,000	7,745,059	△ 2,745,059	植栽、舞台、PC保守ほか	
共益費	0		0	0	0		
公租公課	55,000	0	55,000	76,500	△ 21,500		
事業所税	0		0	0	0		
消費税	0		0	0	0	事業費に含む	
印紙税	55,000		55,000	76,500	△ 21,500	事業、管理	
その他( )	0		0	0	0		
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	17,609,000	0	17,609,000	17,609,000	0		
本部分	17,609,000		17,609,000	17,609,000	0		
当該施設分			0	0	0		
支出合計	245,042,000	0	245,042,000	273,355,956	△ 28,313,956		
差引	0	0	0	594,322	△ 594,322		
自主事業費収入				48,563,508			
自主事業費支出				102,635,522			
自主事業収支				△ 54,072,014			
管理許可・目的外使用許可収入				0			
管理許可・目的外使用許可支出				9,110			
管理許可・目的外使用許可収支				△ 9,110			